

山陽小野田観光協会ホームページリニューアル事業業務委託仕様書

1 委託業務名

山陽小野田観光協会ホームページリニューアル事業

2 業務概要

(1) 山陽小野田観光協会ホームページの現状

山陽小野田観光協会ホームページは、平成17年3月に小野田市と厚狭郡山陽町が合併した直後に開設され、現在に至るまで大幅なホームページのリニューアルを行っておらず、高度化・多様化する閲覧者のニーズやアクセシビリティへの対応が求められる中、管理運営が困難な状況となっているものと解している。

また、カテゴリ分類やリンク等が適切に管理されておらず、「必要な情報にたどり着けない」、「古い情報がいつまでも掲載されている」等の問題が生じており、サイト構成やシステム的な問題への対応が求められているところである。

さらには、本市に対して興味や関心、親しみを持ってもらえるコンテンツが不足していることが挙げられる。

(2) 業務の目的

上記の現状を踏まえ、以下の内容に沿ってリニューアルを行い、当該ホームページを魅力的なサイトとし、市内外の誘客促進を図ることを目的とするとともに、ホームページへの掲載について会員にメリットを見出ししてもらい、会員の増員及び協会の組織強化に繋げる。

①ターゲットを明確にし、情報に即座にたどり着くことができるサイト構成・デザイン等のアクセシビリティ向上を前提とし、探している情報に誰でも即座にたどり着くことができるサイトを構築する。

②故郷を誇りに思い、愛着を感じることができるサイト構成・デザインアクセシビリティに配慮しながら、「山陽小野田市らしい」サイトを構築する。

③視覚だけに頼らず、誰もが楽しむことができるコンテンツの充実も図り、閲覧者が質・量ともに満足できるサイトを構築する。

3 委託業務の内容

本業務では、2(1)「山陽小野田観光協会ホームページの現状」を踏まえ、CMSの導入構築、トップページ、メニューページ等のデザイン及びテンプレートの設計・制作、サイト構成設計、運用ガイドラインの作成、操作研修の実施等のリニューアルに伴う総合的なコンサルティングを行うものである。

(1) 全般要件

①コンテンツの充実

既存コンテンツの見直し、新たなコンテンツや機能の追加を提案すること。

②閲覧者が目的の情報に即座にたどり着くための機能

カテゴリ分類、ジャンル、メニュー等で構成するナビゲーションやデザインだけに頼らず、さらに早く目的の情報にたどり着くための検索機能を強化したサイト構成・デザインを提案すること。

③分かりやすさに注目したデザイン

情報を見たときの「見え方」、「理解しやすさ」に注目し、既存コンテンツの情報の見せ方を改善できるテンプレートの開発や新たなコンテンツ作成により、さらに分かりやすい情報提供ができるような提案をすること。

④ユーザビリティやアクセシビリティに配慮したコンテンツ作成

全てのページは、パソコン、スマートフォン、タブレットのいずれの端末でも最適な表示がされるように、サイト利用者が見やすいデザインにすること。特殊なソフトウェアのインストールを行うことなく閲覧できること。

なお、次のブラウザの最新版で閲覧可能とすること。

・Microsoft Edge

- ・ Google Chrome
- ・ Firefox
- ・ Safari

⑤アクセシビリティ対応（達成等級）

高齢者や障がい者を含む誰もが支障なく利用できるよう、ウェブアクセシビリティ（JIS X 8341-3:2016）に準拠し、ホームページ全体の達成基準が、レベルAAを目標とすること。

⑥ユーザー解析

アクセスログ（アクセス数、日時、直前に見ていたページ等）を取得できること。

また、出力データのフォーマットはCSV等の利用しやすいものであること。

⑦検索エンジン最適化対策

Yahoo!やGoogle等の一般的な検索エンジンにおける検索結果ページの表示順位の上位に表示されるように配慮すること。

⑧作業効率の向上

ページ作成についての専門知識、技術を持たない職員でも編集が可能なCMSの導入と運用ガイドラインの作成を行うこと。

また、リンク切れ等の管理機能を有すること。

⑨拡張性と柔軟性に対応した保守運用形態

運用開始後にバージョンアップ等による機能向上やサイトの構成変更等を柔軟に行えると共に、将来的なシステムの拡張性を考慮すること。

⑩安定性のあるシステム

アクセスが集中した際の環境について十分考慮すること。

(2) 掲載内容に関する要件

掲載内容は、原則、次に掲げるトップページの項目とするが、項目名やページ構成は、サイト利用者にとって見やすいもの、興味・関心を喚起するような文言及びデザインとなるよう提案すること。

また、その他に誘客促進に効果的なコンテンツについて積極的に独自の提

案を行うことし、委託者と協議しながら各機能やコンテンツの詳細を決定すること。

なお、構築中は中間報告を行い、デザイン、レイアウト等について、委託者と協議すること。構築後は、委託者において内容を更新できるものとし、バナー掲出を簡単に実施できるように設計すること。

【トップページの項目】

①山陽小野田市紹介

本市に興味を持ってもらえるような観光スポットの動画及び静止面のスライドショー等を掲載し、本市の魅力発信を行う。

②メニュー

(ア)検索機能(イ)山陽小野田を知る（歴史、文化財、本市にまつわる伝説等）(ウ)旅のお役立ち（観光パンフレット、交通手段等）(エ)本市へのアクセス(オ)Language（英語、中国語（繁体）、中国語（簡体）、韓国語）等の掲載を行う。

③トピックス

「人気スポットの紹介」、「動画コンテスト」等の今旬である情報を掲載する。

④イベント情報（バナーは写真で表示）

イベントカレンダー（年間及び月間）を表示させ、催行日をクリックで、イベントの詳細（イベント画像、イベント内容、開催日時等）が表示する。また、開花情報を掲載する。

⑤グルメ情報（バナーは写真で表示）

観光協会会員における店舗情報（店舗画像、店舗紹介文、店舗HPのURL等）を掲載する。

また、YouTubeへのリンクをページ内に配置する。

⑥名産品（お土産）情報（バナーは写真で表示）

山陽小野田名産品認定商品に関する情報（商品画像、商品紹介文、店舗HPのURL等）を掲載する。

⑦観光スポット 体験/レジャー情報（バナーは写真で表示）

観光スポットに関する情報（観光地画像、観光地紹介文、観光施設HPのURL等）を掲載する。

また、ジャンル毎（体験及びレジャー）に整理する。

⑧宿泊/入浴施設情報（バナーは写真で表示）

宿泊施設及び入浴施設に関する情報（宿泊/入浴施設画像、施設紹介文、施設HPのURL等）を掲載する。

⑨モデルコース（バナーは写真で表示）

モデルコース（ドライブコース、まち歩きコース、ウォーキングコース）に関する情報（コースMAP等）を掲載する。

⑩新着情報

更新された情報を新着情報として取りまとめ掲載する。

⑪Facebook

既存の山陽小野田観光協会Facebookへのリンクを配置する。

⑫Instagram

既存の山陽小野田観光協会Instagramへのリンクを配置する。

⑬観光関連サイト情報

観光連携サイトへのリンクを配置し、スライドショーで表示する。

⑭山陽小野田観光協会PRキャラクター（バナーは写真で表示）

山陽小野田観光協会PRキャラクターに関する情報（要綱、申請書類等）を掲載する。申請書類は、ダウンロードができるようにする。

また、市のロゴマーク、寝太郎キャラクター等に関する情報（関係HPへのリンク）を掲載する。

⑮写真・素材集（バナーは写真で表示）

観光に関する提供可能な写真及び素材をダウンロードができるようにする。

⑯お問い合わせ

利用者が山陽小野田観光協会へ問い合わせできるように送信フォームを配置する。

⑰会員の皆様へ

山陽小野田観光協会会員向けの情報を掲載する。

⑱ 協会情報

観光協会に関する情報（名称、所在地、会長名、会員数、規約、事業計画等）を掲載する。

※トップページレイアウトイメージ（別紙1）及びサイトマップイメージ（別紙2）を参照。

※なお、現在の山陽小野田観光協会ホームページ（<http://sanyoonoda-kanko.com>）の総ページ数は、約300ページであり、年間の閲覧数は約22,000ビューである。

(3) CMSに関する要件

①HTMLの専門的な知識を必要とせず、簡易な操作マニュアルがあれば、新規情報の作成、編集等の更新作業ができるCMSを導入すること。全てのページについて、インターネットにアクセスできるWindowsパソコンから委託者がページの更新、新規の追加を行うことができるよう設計すること。作成支援機能を装備する等、容易に更新や追加ができるシステムとすること。

また、「CMS機能要件一覧表」（別紙3）の条件を満たすこと。

②CMSユーザを作成・管理することができること。また、CMSの同時ログインが複数人で行うことができること。

③多言語対応（UTF-8）していること。

英語、中国語（繁体）、中国語（簡体）、韓国語の自動翻訳に対応すること。

(4) 外部ASPの導入

アクセス解析、サイト内検索、外国語自動翻訳などの、無償で利用できるASPサービスを導入し、各テンプレートへの埋め込み作業等を行うこと。

(5) 委託者職員を対象とした操作マニュアルの作成及び操作研修会の実施

職員が新サイトの更新等が容易にできるよう、操作マニュアルを作成すること。

また、職員がシステムへの習熟を深めることができるよう、操作説明・研修会を最低でも2回実施すること。

(6) ドメイン及びサーバーに関する要件

新サイトで使用するクラウドサーバー（独立したレンタルサーバーで実行するもの）を確保するとともに、ドメインを取得すること。ドメインは、本市のページであることがわかりやすいものを新規で取得すること。

(7) セキュリティ要件

- ①システムへの不正な侵入、システムの停止や障害の発生を予防するとともに、障害発生時の影響を最小限に食い止めるため、十分なセキュリティ対策を講じること。
- ②第三者からのサーバーへの不正なアクセス等により改ざんや消失、毀損が生じた場合は、原因を解明し速やかに対策を講じるとともに報告すること。
- ③新サイトの管理機能は、管理者専用画面でアカウント及びパスワードによる認証を行うこと。
- ④新サイトの管理機能へのアクセスは、SSLによる暗号化通信を行うこと。
- ⑤サーバーのアクセスログを取得する機能を備えること。
- ⑥1日1回、システム及び登録内容のバックアップを自動で行い、過去1週間は保管すること。

また、障害発生時は、速やかに新サイト全体の復元を構築すること。

- ⑦必要に応じて、システムの定期的なプログラム更新及びセキュリティパッチの適用を行うこと。
- ⑧セキュリティの更新作業を保守に含めること。

(8) SNSとの連携に関する要件

Facebook、Instagram等、一般的に広く利用されているSNSのソーシャルプラグインを配置し、サイトで発信する情報が拡散しやすくなるように工夫する等、SNSとの情報連携を強化すること。新規SNSの追

加も想定すること。

なお、連携アカウントは委託者から提供する。

(9) 独自の提案

本仕様の定めがない内容であっても、新サイトの設置目的に相当と思われる機能、方法等がある場合は、積極的に独自提案を行うこと。

(10) 委託契約期間終了後の新サイトの保守・管理等について

本業の委託契約期間終了後も必要なサーバーの確保及び新サイトの保守・管理業務、セキュリティ更新作業を実施することとし、次年度以降に委託契約を締結する。

4 契約期間・スケジュール等

(1) 委託契約の締結・業務の開始

令和4年3月下旬（予定）

(2) ホームページリニューアルに係る導入業務の委託契約期間

契約締結した日から令和4年8月31日まで

(3) 新サイト公開予定日

公開予定は令和4年9月上旬（予定）だが、詳細時期は協議の上決定する。

(4) 構築スケジュール

職員のシステムへの習熟を図るよう、データ移行・研修プログラムのスケジュールリングを含め、最適な方法を提案すること。

なお、詳細は、委託者と受託事業者が別途協議し決定する。

ただし、公開予定日に合わせたスケジュール管理を行うこと。

5 成果物の納品

以下の成果物を電子データ（Word形式、PowerPoint形式あるいはPDF形式）及び印刷物で納品すること。

(1) サイト設計書（サイトマップ）

(2) 運用ガイドライン

- (3) サイトデザイン及びサイトに使用した画像データ（当該データを利用して、委託者が新たな画像を作成することを承諾すること。）

6 その他契約に関する条件等

- (1) 円滑な業務の運営のため、受託者は委託者と適宜打ち合わせを行うこと。
- (2) この仕様書に定めのない事項は、委託者と受託者が協議の上、決定すること。
- (3) 本業務の契約金額は、本業務に関わる一切の経費を含むものとする。
- (4) 本業の成果品に関する著作権は、全て委託者に帰属する。
- (5) 受託者は、本業務を通じて知り得た情報を機密情報として扱い、その情報を管理することとし、契約終了後も同様とする。
- (6) 受託者は、本業務を履行する上で関係法令等を遵守すること。

②
メニュー

①
山陽小野田市紹介
【動画連続再生/静止画スライドショー】

③
トピックス
(スライドショー)

観光情報

④
イベント情報
【バナー:写真】

⑤
グルメ情報
【バナー:写真】

⑥
名産品(お土産)情報
【背景:写真】

⑦
観光スポット
体験/レジャー情報
【バナー:写真】

⑧
宿泊/入浴
施設情報
【バナー:写真】

⑨
モデルコース
【バナー:写真】

⑩
新着情報
(新着順〇件)

⑪
Facebook

⑫
Instagram

⑬
観光関連サイト

⑭
山陽小野田観光協会
PRキャラクター
【バナー:写真】

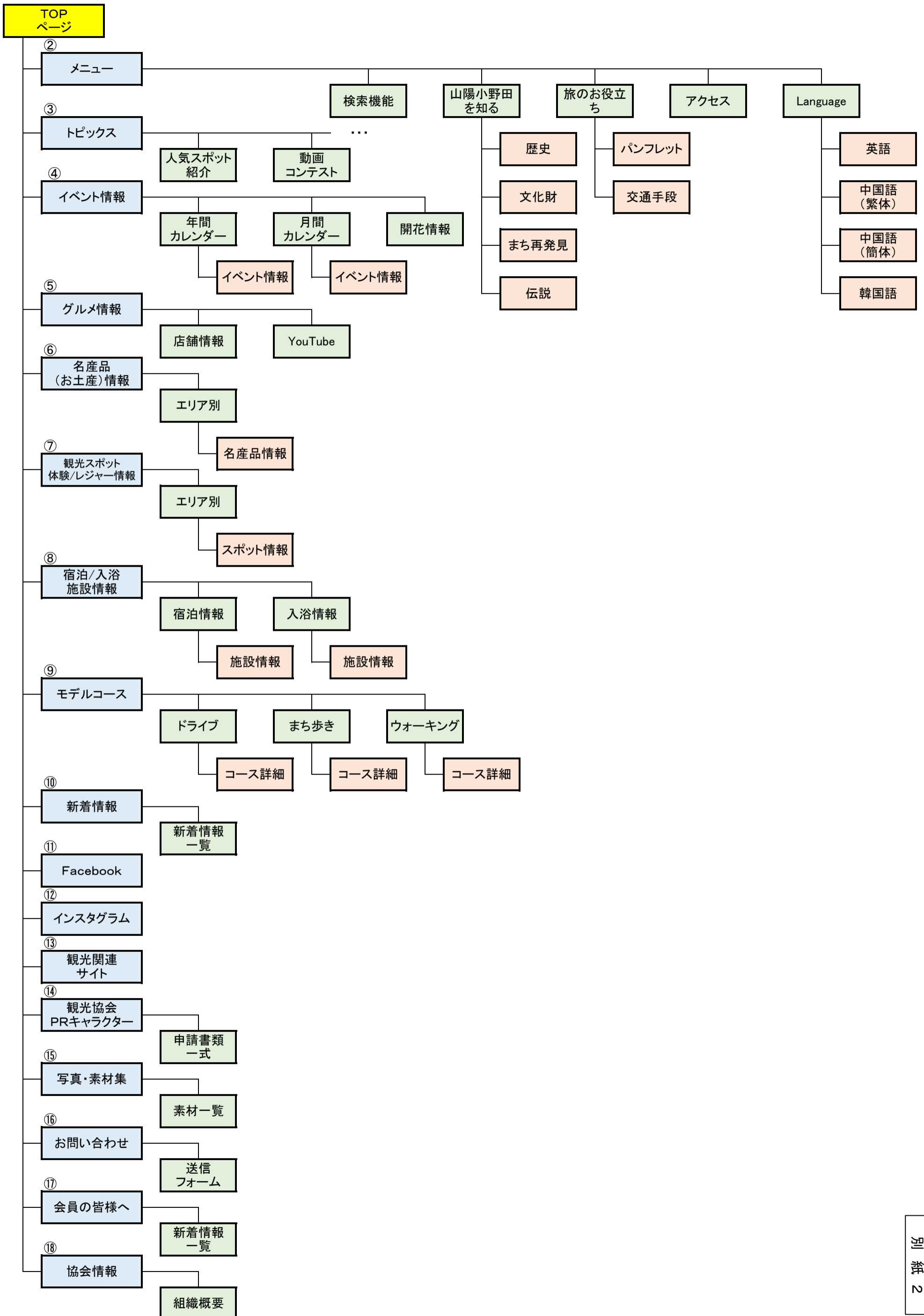
⑮
写真・素材集
【バナー:写真】

⑯
お問い合わせ

⑰
会員の皆様へ

⑱
協会情報

サイトマップイメージ



CMS機能要件一覧表

1. 基本要件		
デザイン	1	サイト全体として、統一化されたページデザインとすること。
	2	トップページ等は、HTMLやCSSの知識がある職員(管理者)レベルで、画像等の軽微な修正ができること。
カテゴリ分類	3	カテゴリ分類は、想定される閲覧者にとっての使いやすさを優先し、タイトルを見ただけでカテゴリ内のコンテンツの内容が想像できるようにすること。
	4	カテゴリ分類ごとにカテゴリトップページを作成すること。
	5	コンテンツ作成時に、掲載するカテゴリ分類を容易に選択できること。なお、1つのコンテンツページについて複数のカテゴリ分類を登録できること。
	6	作成済みのコンテンツページを、容易に別のカテゴリ分類に移動させられること。
	7	ページごとに付与するカテゴリ分類が行えること。たとえば、目的別視点と対象別視点など異なる視点の分類にできること。
2. ページ作成機能		
基本的な仕様	1	作成者がHTML言語を意識することなくコンテンツを作成でき、掲載される画面をイメージできる作成画面であること。
	2	専門知識を持たない一般的な職員でも編集ができ、見出しや段落、表等がタグの知識を持たなくても容易にコンテンツに反映できること。
	3	ツールバー機能があり、テンプレートを選択することで、統一したデザインのページ作成が可能なこと。
	4	ページタイトルの先頭又は末尾に、“山陽小野田”等の共通の文字列が自動的に挿入されること。
	5	ページのレイアウト及びコンテンツはコピーして再利用ができること。
	6	ファイルの保存時には、必要に応じて任意のファイル名が指定できること。
	7	作成時に操作を誤った場合、その操作の1つ前の状態に戻すことができること。
	8	作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。
	9	Yahoo!やGoogle等の一般的な検索エンジンにおける検索結果ページの表示順位の上位に表示されるように配慮すること。
画像	10	簡易な操作でクライアント端末やCMSサーバ上にある画像を掲載・参照し、変更できること。
	11	画像に説明やリンクをつけられること。
	12	公開する画像のファイル容量又は画像サイズを制限できること。
	13	制限容量を超えた画像は自動でリサイズを表示できること。
	14	画像の代替テキスト(alt属性)の未入力を防ぐために警告が表示されること。
添付ファイル	15	ページにWord、Excel、PDF等の各種文書ファイルをリンクできること。
	16	リンクした文書ファイルの種類(Word、Excel、PDF等)、サイズの表記が自動で挿入されること。
	17	PDFをリンクした場合、Adobe Readerのダウンロードを促す案内が、自動で挿入されること。
	18	ダウンロードファイルのリンクは、任意の場所に表示できること。
リンク	19	内部リンク・外部リンクを容易に設定できること。
	20	内部リンクは、一覧等からリンク先を選択するだけで容易に設定できること。
	21	リンク先を表示する際、別ウィンドウで開く設定が可能であること。
	22	公開前(未承認)のページに対してリンク設定ができること。(新規に作成したコンテンツのアドレスが公開前に確認できること。)

リンク	23	内部リンク・外部リンクのリンク切れをページ単位でチェックでき、ページ内のどの部分にリンク切れがあるか視覚化して確認できること。
アクセシビリティ 及びチェック機能	24	ページ単位でアクセシビリティ上の問題を総合的にチェックできること。また、問題箇所をプレビューイメージにて明示し、なぜ問題があるのか、どう修正したら良いのかを表示できること。
	25	コンテンツ作成時にアクセシビリティ等に関する項目のチェックを自動で行い、問題がある箇所は警告を表示し、自動変換できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・画像の代替テキストの有無 ・日付、時間などの表記 ・全角英数字、半角カナ使用の有無 ・機種依存文字の使用 ・不要な全角スペース、半角スペースの使用 ・ページタイトルの有無 ・ファイル名の有無
	26	使用が好まれない単語が含まれている場合、管理者が指定する単語に自動変換する機能があること(例:「子供」→「子ども」)。変換対象とする単語は、管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。
	27	使用が好まれない単語の自動変換機能については、コンテンツ内容によってはあえて表記する場合も想定できるため、ページ作成者が変換候補とは異なる文字も使用できること。
	28	リンクのタイトルテキストとしての使用が好まれない単語(例:「こちら」、「こちらをクリック」)が設定されている場合、警告を表示できること。警告を表示する単語は、管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。
	29	表(テーブル)の構造化チェック、キャプションに指定された文字列のチェックを行えること。
	30	見出しの構造化チェックが行えること(例:見出し1の有無、見出し1、見出し2などの階層構造)。
	31	すべてのページに文字拡大機能を有すること。
	32	すべてのページに文字色・背景色変更機能を有すること。
	33	複数の音声読み上げソフトに対応できるよう、作成されたコンテンツのソースはアクセシビリティに配慮した順番で記述されること。
	34	文字色と背景色の組み合わせが、色覚に障害のある人に適切かどうかを確認できること。
	35	コンテンツ一覧画面においてアクセシビリティに違反するコンテンツが一目でわかるよう表示できること。
	地図	36
動画	37	CMSで作成するページ内に、YouTube等の動画配信サイトに掲載した動画を埋め込み再生できること。
	38	様々なサイズやファイル形式で動画の登録・配信が簡単に行えること。ただし、サイズの制限設定があること。
コンテンツの公開・削除・再利用	39	作成者が公開開始・終了日時を入力することで、指定した日時にコンテンツの自動更新ができること。
	40	公開期限は、年月日のほかに15分単位で時間指定できること。
	41	公開日時を指定しないコンテンツの場合は、即時公開の設定が容易にできること。
	42	公開期限を無期限とする設定が容易にできること。
	43	すでに公開されているコンテンツを未来の日付で更新する場合は、現在のコンテンツを直接編集し日時設定することで、予定の日時にコンテンツが自動更新されること。
	44	各ページに公開日および最終更新日が自動的に表示されること。ただし、任意の日付に置き換えができること。
	45	ページの公開・更新を行った際、ページが所属するカテゴリも自動で更新(タイトルの後ろ等に更新日を自動挿入)されること。
	46	公開が終了したページは再利用できるようにCMSサーバに保存できること。
	47	CMSサーバに保存されているページを一覧から選択・複写し、新規ページを作成できること。
	48	公開が終了したページの一覧を表示でき、一括又は選択してCMSサーバから削除できること。
プレビュー	49	ページの公開イメージを、作成・承認の各段階で容易にプレビューできること。また、プレビュー画面からは、容易な操作で作成画面等に戻れること。
	50	当該ページからリンクをたどる形で、内部リンク先のページも含めて公開時と同じ状態でプレビューできること。

プレビュー	51	ページ単位で、色に頼った情報提供になっていないかを、プレビューイメージ等にて、視覚的に把握できる機能を有すること。
	52	任意の未来日を指定して、その時点でのページおよびサイト全体をプレビューできること。
	53	WEB・スマートフォン版ページ等、他のメディアへの表示もプレビューできること。
3. 自動更新、自動生成機能		
新着リンク	1	コンテンツ作成時に、指定するページ(トップページ、課室トップページ、カテゴリトップページ等)への新着情報掲載の有無を設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。
	2	新着情報に掲載した情報は、自動的に掲載した日付の降順で表示されること。
	3	新着情報に表示しきれない情報は、新着情報一覧ページに別途表示できること。
ナビゲーション	4	すべてのページにトップページへ戻るリンクを設定し、統一した所定の位置に表示すること。
	5	各ページに、ページタイトルを自動的に引用したパンくずリストを自動生成できること。
	6	パンくずリストは、カテゴリ別・ページ別等の複数の設定に対応できること。
	7	サイトマップを自動生成できること。
	8	自動生成されたサイトマップを再編集できること。
4. 他のメディア向けサイト		
スマートフォン用サイト	1	PCページを作成した際、同時にスマートフォン端末に対応したページも自動作成できること。
	2	スマートフォンで閲覧する際、最適化されたレイアウトで表示されること。
	3	スマートフォンの利用シーンを想定した、専用のトップページを作成すること。
5. 管理者の管理機能		
基本機能	1	複数ユーザが同時にログインできること。
	2	ログインするユーザIDにより、それぞれの権限に応じた画面が表示されること。
	3	同一ページを同時に別々のユーザが更新できないこと。又は更新しようとする際に警告が表示されること。
管理者の権限	4	管理者は、サイト内の全てのページを編集する権限があること。
	5	管理者は、全てのページを承認ルートによらないで即時公開できる権限があること。また、指定したユーザに即時公開(災害発生時の公開等)の権限を与えられること。
	6	管理者は、CMSに登録されている全ページの情報(ページタイトル、階層構造、ディレクトリ)をCSV等に出力できること。
	7	管理者は、カテゴリの追加・変更・削除、コンテンツの振り分けができること。
	8	管理者は、全てのコンテンツの状態(作成中・承認待ち・公開中・非公開等)を一覧で確認でき、CSV等に出力できること。
	9	ヘッダー・フッター等のサイトの共通部分は、管理者のみが変更できること。
	10	管理者は、入力禁止文字の登録・変更・削除ができること。
	11	管理者は、入力禁止文字が使用されているページを検索できること。また、検索後に置換できること。
ユーザ管理	12	管理者は、ユーザの登録・更新・削除を行えること。また、ユーザの操作権限・ID・パスワード等の管理ができること。
	13	管理者は、ユーザの操作履歴(ページの公開・削除、操作日時・操作者・操作ページ・操作内容等)を確認できること。
テンプレート管理	14	管理可能なテンプレート数に上限がないこと。
	15	テンプレートは、HTMLやCSSの知識がある職員(管理者)レベルで、修正、追加、削除ができること。
	16	テンプレートの修正があった場合、該当テンプレートを使用している全てのページを自動更新できること。

6. 承認ワークフロー		
基本仕様	1	承認者は、承認依頼を受けたページに対し、アクセシビリティチェックやプレビューを行えること。
	2	作成者・承認者は、承認状況を確認できること。
承認依頼中の修正	3	承認依頼中のページを作成者自身がキャンセルし、ページ内容を再編集できること。
	4	承認者は、承認依頼を受けたページを上書き編集できること。
7. その他の機能		
外国語翻訳	1	英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語の3カ国の言語に対するgoogle自動翻訳システムを導入すること。
	2	ページごとのアクセス件数、検索キーワード等が取得できること。
アクセス解析	3	閲覧者の使用するブラウザ・OSが集計できること。
	4	閲覧者の接続ポイント(都道府県)が集計できること。
	5	解析結果は、CSVファイル等で保存・出力できること。
	6	庁内LANからのアクセスと外部からのアクセスを区別して集計できること。
サイト内検索	7	キーワードでサイト内のページが検索できるよう、検索の入力フォームを配置すること。
	8	キーワード完全一致の検索だけでなく、表記の違いがあっても検索結果が表示される同義語検索機能が備わっていること。
問い合わせ	9	投稿者が送信前に入力内容を容易に確認でき、送信後に自動返信メールが送信できること。
	10	投稿者からの問い合わせに対し、メールで回答できること。